

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	(仮称)六地蔵駅前プロジェクト B敷	階数	地上20F
建設地	宇治市六地蔵奈良町67-1他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	677 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2023年5月 0.0	評価の実施日	2020年8月28日
敷地面積	3,256 m <sup>2</sup>	作成者	長谷工 和田
建築面積	1,613 m <sup>2</sup>	確認日	2020年8月28日
延床面積	22,582 m <sup>2</sup>	確認者	長谷工 竹端



<b>2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&amp;チャート)</b>	<b>2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)</b>	<b>2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)</b>
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 87%</p> <p>③上記+②以外の 87%</p> <p>④上記+ 87%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p>	<p>Q1 室内環境</p> <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

<b>2-4 中項目の評価 (バーチャート)</b>		
Q のスコア = 2.9		
<b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.4 	<b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.8 	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 2.2 
LR のスコア = 3.0		
<b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.4 	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.7 	<b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.9 

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
総合 省エネ基準に適合した建築物としている。		その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。	<b>Q2 サービス性能</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が一般的な建築物(参照値)と同等。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される